

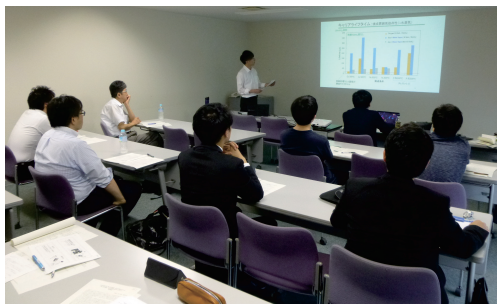
日本材料科学会 第4回北海道・東北支部総会および 第2回北海道・東北支部材料科学コロキウム 参加報告

北海道・東北支部長 須藤 祐司

令和1年6月14日(金)午前10時より東北大学 大学院工学研究科において、日本材料科学会 第4回北海道・東北支部総会が開催されました。支部総会には、北海道・東北支部の渡邊 良祐先生(弘前大学)、上野 俊吉先生(日本大学)、水谷 正義先生(東北大学)、安藤 大輔先生(東北大学)、筆者(東北大学)並びに各先生の学生達の計12名程が出席致しました。総会では、北海道・東北支部の昨年度の活動並びに北海道・東北地区の学会員数の現状について報告すると共に、来年度に向けた支部の取り組みなどについて意見交換がなされました。

また、昨年度に引き続き、支部総会後に北海道・東北支部 材料科学コロキウムと題した講演・討論会を開催致しました。本コロキウムは、教員による研究概要の紹介に続き、その研究に携わる学生の研究発表を通じて、教員と学生が活発な議論を交わす新たな試みとして今年で2回目を迎えます。今回は、4名の教員の先生方(弘大 渡邊先生、日大 上野先生、東北大 水谷先生、東北大 須藤)と各先生方の学生達の7名(弘大:今泉魁翔君、大石凌也君、梶谷翔太君、日大:蔦木新也君、田代敦也君、東北大:原井智広君、市川大樹君)が発表を行いました。コロキウムには発表者だけではなく、多くの聴講者も参加致しました。ゾルゲル法、スパッタリング法によるコーティングやレーザー照射による表面改質から組織制御によるセラミックスの特性制御、また、抵抗器の熱シミュレーションまで研究分野は多岐に渡りましたが、いずれの発表もたいへん興味深い研究内容であり、非常に活発な討論が繰り広げられました。特に、教員からの鋭い指摘に対しても、時には先生の助けを受けながら果敢に自身の考えを述べて討論しようとする学生のたくましい姿勢を垣間見る事ができました。今回のコロキウムでは、参加者による投票により、優秀な発表を行った学生に対し発表賞を授与致しました。その結果、最優秀発表賞に日本大学の田代敦也君(教員:上野先生)および優秀発表賞に東北大学の原井智広君(教員:水谷先生)が選ばれました。討論会終了後には、仙台駅周辺にて、コロキウム参加者による懇親会が開催され、交流を深めました。今後、北海道・東北支部発の新しい研究の発信が強く期待されるコロキウムおよび懇親会でございました。

次回2020年度の北海道・東北支部においても、引き続き、第3回目の材料科学コロキウムを開催する予定です。今後、詳細については支部幹事にて検討を行い、内容が決まり次第、学会ホームページならびに会誌に掲載しますので、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。



材料科学コロキウムの様子



コロキウム参加者の集合写真